学校番号	115

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校倫理　新訂版（実教出版）						
副教材等	アプローチ倫理資料ＰＬＵＳ（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書をしっかり読みこみ、思想家の抽象的な表現を自分の身近な問題に置き換えて考えるようにすることが大切である。また、様々な思想家が取り上げたテーマについて、自分はどう考えるか常に問いかける姿勢を持つようにしよう。

授業中にメモしたことをノートに整理し直す。また、時間があれば、哲学入門書を読んだり、思想の時代背景を確認するために歴史の教科書を熟読することが望ましい。

２　学習の到達目標

源流思想および西洋近現代思想を学ぶことにより人間の存在や価値について思索を深め、いかに生きるべきかといった人間としての根本問題について考える手がかりを与え、自らの人生観・世界観ないし価値観を形成し、今後の人生を主体的に考え切り開いていける力を身につけることを目指す。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人間尊重の精神と自己形成について関心を高め，人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに，これらにかかわる諸課題を探究する態度を身に付け，人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	生きる主体としての自己の確立について広く課題を見いだし，人間の存在や価値などについて多面的･多角的に考察し探究するとともに，良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断できる。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関する諸資料を収集し，これらを自己形成に資するよう活用するとともに，追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現できる。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などにかかわる基本的な事柄を，生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し，人格の形成に生かす知識として身に付ける。
評価方法	授業態度 ノート提出および その内容	課題提出および その内容	課題提出および その内容	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期前半	ギリシャ哲学	自然哲学者(ピタゴラス・デモクリトスなど)の思想について ソフィストの思想について ソクラテスの思想について プラトンの思想について アリストテレスの思想について ヘレニズム期の思想について	○	○	○	○ ○ ○	a: 古代ギリシャにおける先哲が考え実践した人間の生き方や在り方について，関心をもって学ぼうとする意欲・態度をもっている。 b: 古代ギリシアの哲学者の思想を基本的な歴史的知識を踏まえて認識し，思想家の生涯と思想を通して，その意味について考え，主体的かつ客観的に判断することができる。 c: 古代ギリシャにおける思想家の原典或いはその関連書物を読み，人間の生き方や在り方について，自分の考えを適切に表現できる。 d: 古代ギリシャにおける様々な概念について　理解している。	定期考査 課題提出
1学期後半	世界宗教	ユダヤ教の思想について イエスの思想について キリスト教の発展について イスラームについて	○	○	○	○	a: ユダヤ教, キリスト教, イスラームにおける人間の生き方や在り方について、自己自身の生き方や在り方に深く関わるものとして、関心をもって学ぼうとする意欲・態度をもっている。 b: 各宗教の内容を基本的な歴史的知識を踏まえて認識し，各人物の生涯と思想を通して，その意味について考え判断することができる。 c: 各宗教の原典を読んだり，関連する芸術作品に接し，認識を深めそれに基づいて自分の考えを表現することができる。 d:各宗教における基本的な概念について理解している。	定期考査 課題提出

2学期前半	東洋思想	バラモン教について 仏陀の思想について 大乗仏教について 孔子の思想について 孟子、荀子、朱子、王陽明について 老荘思想について	○	○	○ ○	○ ○	a：仏教や中国思想における人間の生き方や在り方について，仏陀や孔子などが考え実践したことについて，自己自身の生き方や在り方に深く関わるものとして関心をもって学ぼうとする意欲・態度をもっている。 b：仏教や中国思想を基本的な歴史的知識を踏まえて認識し，各人物の生涯と思想を通して，その意味について考え正しい判断をもつことができる。 c：仏典や諸子百家の解説書を読んだり，また仏教や諸子百家をテーマとした芸術作品に接し，認識を深めそれに基づいて自分の考えを表現することができる。 d：仏教用語や中国思想の用語の概念について理解している。	定期考査 課題提出
2学期後半	近代哲学	ルネサンスの思想について 宗教改革期の思想について ルター、カルヴァン モラリストの思想について パスカル、モンテーニュ 経験論の思想について ベーコン 合理論の思想について デカルト 社会契約説について ホッブズ、ロック、ルソー 観念論の思想について カント、ヘーゲル 功利主義について ベンサム、ミル	○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a：ルネサンス，宗教改革，モラリスト、近代哲学の思想について，近代的人間観に基本的な枠組みを提供していることを踏まえ，興味や関心をもち，探求する意欲や態度をもっている。 b：ルネサンス，宗教改革，モラリスト、近代哲学の思想における人間観が現在にも有効であることを理解し，それを踏まえて現代的な課題について客観的で公正な判断をくだすことができる。 c：ルネサンス期、宗教改革期、近代哲学の著作にふれ，さらに同時代資料或いは後世の研究を参考にし，その特徴を自分の言葉で表現できる。 d：ルネサンス，宗教改革，モラリスト、近代哲学の思想について，基本的な知識理解を持っている。	定期考査 課題提出 ノート提出

3学期	現代思想	プラグマティズムについて パース、ジェームズ、デューイ 社会主義 オーウェン、サンシモン フーリエ 実存主義 キルケゴール、ニーチェ ヤスパース、ハイデガー サルトル	○	 ○		○	a：社会主義や実存主義について，私たちの生きる世界と時代に直接関わっている思想として関心をもち，探求する意欲と態度をもっている。 b：社会主義，実存主義は、現在の私たちにも深く関わる思考であることを認識し，その現代的な意味について適切に判断することができる。 c：社会主義、実存主義の著作や同時代資料に拠りながら考え，自分の考えを表現できる。 d：社会主義思想や実存主義とその諸概念について正しく理解できている	定期考査 課題提出 ノート提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。